

※いかりのマーク、🍡🍡🍡を裏面の同じ色のマークと合わせるように折り返すと、地図と一緒に説明文を読むことができます。

※各説明文上の線の色は、地図面のコースを示しています。

説明文にあるQRコードを読み込むと、解説動画が流れるよ！

中区 Mascot キャラクター スウィンギー



よこはま 中区の歴史を 碑もとく絵地図

開港のまち・中区には「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑が点在しています。このマップ片手に碑巡りしてみませんか。

● 碑など ■ 国県市指定・登録文化財、横浜市認定歴史的建造物

12 近代街路樹発祥の地
1867(慶応3)年頃、開港場・横浜の馬車道では、美しい景観づくりのため、各商店により柳と松の街路樹が植えられた。近代的街路樹の先駆である。

14 吉田橋関門跡
開港直後、開港場への出入り口として、ここに吉田橋が架けられた。橋には関門が設けられ、開港場の治安を図った。関門を境に海側を関内、陸側を関外と呼んだ。

13 鉄の橋
イギリス人土木技師 R・H・プラントンの設計により、1869(明治2)年、日本で最初のトラス構造の鉄橋に架け替えられ、「かねのはし」と呼ばれた。

**16 プラントンと横浜、
我が国最古の公園**
1868(明治元)年、政府の招へいにより、イギリス人土木技師 R・H・プラントンが来日。日本沿岸各地で灯台を建設する一方、横浜公園や日本大通りの設計など、横浜の近代的なまちづくりに足跡を残した。横浜公園には彼の胸像があり、日本大通りとその先の港を望んでいる。

**15 横浜ベイスタース優勝記念
モニュメント「煌(きらめき)」**
1998(平成10)年の横浜ベイスタースの優勝・日本一を記念した碑で、当時の選手たちの手形が埋め込まれている。この碑が「ベイスタース通り」の愛称の由来である。

4 旧税関事務所遺構
1914(大正3)年築、レンガ造り3階建てのゴシック様式の建物であったが、関東大震災で焼失した。赤レンガパーク整備工事の際に発見され、当時最新であったガス暖房や電気照明が完備されていた。

17 岩亀楼の石灯籠
横浜公園一帯は、1856(安政3)年に埋め立てられ、太田屋新田と呼ばれていた。開港とともに、さらに埋め立てられ、港崎町となった。その一面に港崎遊郭が作られ、国際社交場として栄えた。

**6 101年間旧大さん橋を支えた
螺旋杭**
棧橋を支えるため、人力で海底にねじ込まれた螺旋杭。1894(明治27)年から101年間、先代の大さん橋を支えていた。展示されているのは、関東大震災の復旧工事で施工されたもの。

18 横浜町会所跡
1874(明治7)年、貿易商の集会所として町会所が建設された。石造2階建てで屋上に塔があり、「時計台」の愛称で親しまれた。所内には後に横浜商工会議所となる前身組織が設立された。

19 岡倉天心生誕の地
1862(文久2)年、岡倉天心はこの地に開業していた商館・石川屋に生まれた。日本美術の振興に努め、東京美術学校(現在の東京藝術大学)の設立に尽力した。

21 ホテル発祥の地
1860(万延元)年、オランダ人船長 C・J・フナーゲルが創業した日本初の近代ホテル「ヨコハマ・ホテル」が、ここにあった。シーボルト親子も滞在したという。

20 中消防署開設の地
1919(大正8)年、常設の消防署として第二消防署(現在の中消防署)が開設された。この付近では「消防救急発祥の地」の碑や「旧居留地消防隊地下貯水槽」も見ることができる。

22 近代のパン発祥の地
欧米諸国との貿易が始まる中、内海兵吉の「富田屋」、打木彦太郎の元町「ウチキパン」などのパン屋が誕生。この地区で、現代日本の日常生活に根づくパン食文化が始まった。

9 日本で最初のガス灯
1872(明治5)年、高島嘉右衛門らが設立したガス会社「日本ガス社中」により、馬車道から本町通りにかけて、日本最初のガス灯がともされた。復元したガス灯が碑の両側に立っている。

23 外国郵便創業の局
郵便制度ができた当初、外国郵便は在日外国郵便局が扱っていたが、1875(明治8)年1月、アメリカ郵便局の業務が横浜郵便局(現在の横浜港郵便局)に移管され、日本政府の所管となった。

24 神奈川運上所跡
1859(安政6)年、開港に伴い、神奈川運上所が設けられた。現在の税関業務や外交業務など、神奈川奉行所の中で最も重要な仕事を受け持っていた。

1 鉄道創業の地
1872(明治5)年、イギリス人技師・モレルの尽力で横浜-新橋間に日本最初の鉄道が開通した。当時の横浜駅は、今の桜木町駅辺りにあった。駅室室跡を記す銘板が地下道入口壁面にある。

2 港一・二・三号橋梁
かつて、ここには新渚ふ頭へ向かう貨物線が通っていた。一・二号橋梁は、その鉄橋で、三号橋梁は、近くの大岡川橋梁から一部を移築したもの。いずれも貴重なトラス橋である。

3 旧横浜港駅プラットホーム
大正から昭和の海外航路が華やかな時代に、汽船連絡列車が東京駅からここまで乗り入れ、氷川丸などの客船に接続していた。人々からは、岸壁列車と呼ばれ親しまれていた。

**5 横浜税関遺構 鉄軌道及び
転車台ほか(象の鼻パーク)**
ここは横浜港発祥の地である。港の荷役に使われた鉄軌道と転車台、関東大震災で沈んだ石積など、歴史を語る遺構がある。明治初期に活躍した実業家・原善三郎、横浜港築造に携ったイギリス人 H・S・パーマーなど、「みなとを造った偉人たち」の業績を紹介する標柱サインは、日が暮れると美しい照明パネルになる。

7 生糸貿易商・中居屋重兵衛店跡
中居屋重兵衛(本名:黒岩撰之助)は、開港時の横浜で活躍した群馬県桐生村出身の生糸貿易商人。その取引量は、全輸出生糸の半数を超えていた。当時、ここには「あかがね御殿」と呼ばれる豪壮な店があった。

8 旧横浜正金銀行本店本館
1904(明治37)年に建設され、明治時代の産業経済の発展に貢献した貴重な建造物であることから、1969(昭和44)年、国の重要文化財及び国の史跡に指定された。

9 日本で最初のガス灯
1872(明治5)年、高島嘉右衛門らが設立したガス会社「日本ガス社中」により、馬車道から本町通りにかけて、日本最初のガス灯がともされた。復元したガス灯が碑の両側に立っている。

10 アイスクリーム発祥の地
1869(明治2)年、町田房造が馬車道から本町通りにかけて、日本人で初めて、アイスクリームを「あいくすりん」の名称で販売したところ、全国に広まった。

11 牛馬飲水槽
大正時代頃、陸上交通の主力は牛馬で、道路脇には給水のための牛馬飲水槽が設けられていた。これは磯子区八幡橋際にあったもの。県立歴史博物館入口前道路にもレプリカがある。

36 プラフ溝
かつて山手は居留外国人からプラフ(切り立った崖)と呼ばれていた。プラフ溝は、1874(明治7)年から翌年にかけて敷設された石造りの道路側溝である。

37 ジェラルールの瓦とレンガ
明治時代、元町公園周辺には、フランス人実業家 A・ジェラルールが経営する、日本最初の西洋瓦とレンガの製造工場があった。公園プール管理棟の屋根瓦の一部は、当時のものである。

38 ジェラルールの水屋敷地下貯水槽
フランス人実業家 A・ジェラルールは、この地の良質な湧水に着目して貯水施設を造り、水をパイプで船舶に送って販売する給水業を営んだ。この施設は「水屋敷」と呼ばれていた。

42 日本最初の洋式公園(山手公園)
山手公園は、1870(明治3)年に居留外国人によって造られた日本初の洋式公園。ヒマラヤスギもここに初めて植えられ、全国に広まった。国の名勝指定である。

43 日本吹奏楽発祥の地
1869(明治2)年、薩摩藩の青年藩士約30人が、ごこ香寺でイギリス陸軍軍楽隊長フェントンから軍楽を学んだ。これが日本の吹奏楽の発祥と言われている。

44 麒麟麦酒開源記念碑
この一帯は天沼と呼ばれ、清水が湧き出していた。1870(明治3)年、アメリカ人技師 W・コーランドは、この地にビール醸造所を設立。日本で初めて継続的にビールの醸造・販売を行った。

36 プラフ溝
かつて山手は居留外国人からプラフ(切り立った崖)と呼ばれていた。プラフ溝は、1874(明治7)年から翌年にかけて敷設された石造りの道路側溝である。

37 ジェラルールの瓦とレンガ
明治時代、元町公園周辺には、フランス人実業家 A・ジェラルールが経営する、日本最初の西洋瓦とレンガの製造工場があった。公園プール管理棟の屋根瓦の一部は、当時のものである。

38 ジェラルールの水屋敷地下貯水槽
フランス人実業家 A・ジェラルールは、この地の良質な湧水に着目して貯水施設を造り、水をパイプで船舶に送って販売する給水業を営んだ。この施設は「水屋敷」と呼ばれていた。

39 代官坂
古くは、箕輪坂と呼ばれていたが、坂の途中に横浜村名主石川徳右衛門の屋敷があったことから「代官坂」と呼ばれるようになった。ペリーは、上陸時にこの屋敷を訪れた。

40 シドモア桜
外国人墓地に眠る19世紀のアメリカ人紀行作家 E・R・シドモアは、ポトマック河畔への桜の植樹に尽力した。ポトマック河畔から里帰りした桜の接木がシドモアの墓前に植えられており、このほか、弁天橋などでも植えられている。

41 日本庭球発祥の地
1878(明治11)年、外国人専用の公園だった山手公園内に5面のコートが造られ、日本で初めて近代テニスが行われるようになった。近くに発祥記念館もある。

42 日本最初の洋式公園(山手公園)
山手公園は、1870(明治3)年に居留外国人によって造られた日本初の洋式公園。ヒマラヤスギもここに初めて植えられ、全国に広まった。国の名勝指定である。

43 日本吹奏楽発祥の地
1869(明治2)年、薩摩藩の青年藩士約30人が、ごこ香寺でイギリス陸軍軍楽隊長フェントンから軍楽を学んだ。これが日本の吹奏楽の発祥と言われている。

44 麒麟麦酒開源記念碑
この一帯は天沼と呼ばれ、清水が湧き出していた。1870(明治3)年、アメリカ人技師 W・コーランドは、この地にビール醸造所を設立。日本で初めて継続的にビールの醸造・販売を行った。

◀「横浜吉田橋ヨリ馬車道之真景」(広重(三代)) / 横浜市中央図書館蔵

**25 日米和親条約締結の地、玉楠、
旧横浜居留地煉瓦造下水道マンホール**ほか
1854(安政元)年、この地で、日本の開国を決定した和親条約が結ばれた。その記念碑(右下)のほか、ペリー上陸時から横浜のまちを見守り続けた玉楠の木(上)・関東大震災等で被災後も3度芽吹き、初めての近代的下水道施設(左下)、旧居留地にあった大砲、大さん橋付近に設置されていた時計塔など、周辺には多くの遺物がある。

26 英一番館跡
ここは、かつて外国人居留地の一番地が設立した「ジャーディン・マセソン商会」のあった場所。「英一番館」の通称で知られていた。

27 インド水塔ほか(山下公園)
関東大震災のがれきを埋め立てて作られた山下公園。ここには、震災後の救援活動に感謝した横浜在住のインド人団体から寄贈された「インド水塔」をはじめ、「赤い靴はいた女の子」、「かもめの水兵さん」ほか、多くの記念碑・石碑がある。

28 ヘボン博士邸跡
開港直後に来日した、アメリカ人宣教師 J・C・ヘボンは、日本初の和英辞典「和英語林集成」を出版した。この辞典に使われているローマ字表記が「ヘボン式」の元になった。

29 横浜天主堂跡
1862(文久元)年1月、居留外国人への布教のため、ここに近代日本初のカトリック教会の聖堂が建てられた。碑には当時の天主堂のレリーフもある。

30 ラグビー発祥の地
1866(慶応2)年、居留外国人がアジア初のラグビークラブを山下町で設立。1901(明治34)年に、国内で日本人初となるラグビーの試合が、慶應義塾の学生たちによって行われた。

31 日本における新聞誕生の地
1864(元治元)年、海外事情を明らかにするために、ジョセフ・ヒコ(浜田彦蔵)が外国新聞を翻訳・編集し、日本初の邦字新聞「海外新聞」を発刊した。ここはその居館跡。

32 横浜の下水道の始まり
1881(明治14)年以降、陶管に代わってレンガ造りの管が下水管として使用されるようになった。卵型の断面が特徴で、一部は今も中華街南門通りで使われている。

33 旧フランス領事官邸遺構
1930(昭和5)年に建てられた2代目領事官邸の遺構(昭和22年焼失)。関東大震災で崩壊したものの、初代官邸にあった井戸の水汲み用の風車が復元されている。

34 ゲーテ座跡
ここには、関東大震災で崩壊するまで「ゲーテ座」という西洋劇場があった。芝居、音楽会などの催しが行なわれ、居留外国人の社交場となっていた。

35 山手80番館遺跡
横浜に唯一現存する、震災前の外国人住宅の遺構。明治末から大正初期に建てられたと思われる。住宅の間取り図と発掘された美しいタイルが展示されている。

1870年(明治3年) 日本最初の洋式公園である山手公園が開園
1872年(明治5年) 横浜-新橋間鉄道開業
1876年(明治9年) 横浜公園(当時:彼我公園)が開園
1889年(明治22年) 横浜市制施行

「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」ホームページでは
英語版・中国語版・ハングル版も公開▶

発行: 横浜市中区役所区政推進課 令和5年3月 第8版発行(初版 平成23年)
〒231-0021 横浜市中区日本大通35 TEL045-224-8127 FAX045-224-8214

1854年(嘉永7年) 日米和親条約締結
1858年(安政5年) 日米修好通商条約締結
1859年(安政6年) 神奈川(横浜)が長崎、兵庫、新潟、函館とともに開港
1869年(明治2年) 吉田橋が鉄橋になる(鉄橋のはじめ)

よこはま 中区の歴史を碑もとく絵地図



- 碑など※
- 国県市指定・登録文化財、横浜市認定歴史的建造物※
- ※番号つきのものは裏面に解説あり
- 🚶 観光スポット周遊バス「あかいくつ」のバス停
- 🚶 連節バス「ベイサイドブルー」のバス停
- 🚶 水上バスのりば
- 🚻 公衆トイレ・公園トイレ
- 🚦 交番・警察
- 🏠 観光案内所

主なウォーキングコース紹介

1 ミナト・ヨコハマコース
 桜木町駅～日本大通り駅 約70分
 (①～⑥) ※⑥から日本大通り駅へは③コース参照

2 もののはじめコース
 馬車道駅～関内駅 約60分
 (⑦～⑱)

3 横浜居留地コース
 日本大通り駅～石川町駅 約90分
 (⑱～⑳)

4 山手の丘コース
 元町・中華街駅～元町・中華街駅 約40分
 (㉓～㉔) ※一部急な坂や階段があります。

5 北方コース
 石川町駅～元町・中華街駅 約50分
 (㉔～㉕) ※㉕から元町・中華街駅へは④コース参照

6 三塔を巡るコース
 関内駅～日本大通り駅 約20分
 (⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓)